

ワーキンググループの取り組み状況について(中間報告)

1 ワーキンググループの目的

ケーブルテレビのサービスの質を高める方策の一つとして、自主番組の充実が考えられるが、そのための課題・方策等について検討を行うことを目的とする。さらに、構成員の間でその結果を共有することにより、関係者の意識・能力の向上を図る。

2 検討項目

以下について検討を行い、検討結果を第3回検討会（10月頃開催予定）に報告

①各地方自治体（ケーブル会社）における自主番組の制作状況

②自主番組充実のための意義・課題・方策

（意義：サービスの質を高める

課題：素材確保、編集、専門スタッフ、予算

方策：自主番組流通、地域住民からの素材確保、アーカイブ化 等）

③地方自治体間（ケーブル会社間）で相互に自主番組の流通を行う意義・課題

④能登地域以外のケーブル会社と相互に自主番組の流通を行う意義・課題

⑤取り組むべき方策

3 構成員

	上野 実	穴水町	企画情報課	係長
	江上 良則	輪島市	総務部放送課	主事
	滝川 哲也	志賀町	情報推進課	係長
	仲谷 宗	能登町	広報情報推進課	主事
副主査	前田 保夫	珠洲市	総務課	主査
主査	宮川 明大	七尾市	企画政策部情報政策課 ケーブルテレビ推進室	専門員
	宮川 武志	中能登町	情報推進課(放送センター)	主事

・オブザーバー

石川県情報政策課

・事務局

総務省北陸総合通信局、(株)パステルラボ

4 今までの検討状況

	日時	検討項目・検討状況	開催場所
第1回	5月23日 10:30~12:30	<p>①ワーキンググループの今後の進め方について ・事務局から説明・了承</p> <p>②各地方自治体（ケーブルテレビ）の自主番組の制作状況 ・各構成員から各地方自治体のICTインフラ整備及び自主番組の制作状況について報告 ・<u>ケーブルテレビごとに10分程度に編集した自主番組を放映し、意見交換等を実施。</u></p>	七尾市（能登島支所）
第2回	6月5日 13:30~16:00	<p>①自主番組充実のための意義・課題・方策 ・意義・課題について、各構成員から現場の視点から様々な意見（詳細は、別紙1参照）が出されるとともに、<u>自主番組の意義について共通認識を得た。</u></p> <p>②広域自主番組の作成・放映について ・第1回WGで放映したケーブルテレビごとの自主番組を編集した広域自主番組(イメージ。30分程度)を作成し、それを踏まえ意見交換を実施。 ・<u>広域で自主番組を作成し、それを各ケーブルテレビで放映することについては、意義があるが、放映に当たっては、様々な課題を整理する必要がある旨、コンセンサスを得た。</u> ・そのため、事前に、各構成員で課題を列挙し、次回会合で、集中的に検討を行うこととした。</p>	珠洲市（産業センター）

5 今後の予定

	日時	検討項目・検討状況	開催場所
第3回	7月4日 13:30~15:30	<p>①能登地域内で自主番組の相互流通を行う意義・課題（課題を整理した上で、まずは、「お試し」で、一度、広域で自主番組を作成・放映する可能性について検討）</p> <p>②能登地域以外と自主番組の相互流通を行う意義・課題</p>	中能登町（鹿島庁舎）
第4回	9月	—取り組むべき方策（親会への報告案の検討）	能登町

注：今後、検討状況によって追加でワーキンググループを開催する可能性あり

ワーキンググループ議事要旨

【第 1 回ワーキンググループ会議】

日時：平成 20 年 5 月 23 日（金）10：30～12：30

場所：七尾市役所 能登島市民センター 情報センター会議室

議事：

○各自治体の ICT インフラ整備及び自主番組制作状況について

資料 WG1-3 に基づき、各構成員より ICT インフラ整備及び自主番組制作状況についての報告が行われた。各構成員からの報告を以下にまとめる。

輪島市	テーブルテレビ整備状況は、第 1 期工事が本年 4 月に完了し、現在第 2 期工事（7 月完了）を進めている。また、自主番組については、現在は文字放送のみで、6 月に議会中継を予定している。今後、運用が進めば、コミュニティ番組等の制作を行いたい。
志賀町	テーブルテレビ整備状況は、6 月 1 日より 1 期エリアで開局予定となっており、2 期エリアは 10 月の開局を目処に準備を進めている。なお、志賀町では各世帯に無料工事を実施しており、約 9000 世帯（事業所含む）の加入を見込んでいる。また、自主番組については、健康・農林・環境等の 6 つの基本方針をコンセプトに番組制作を行う予定である。
中能登町	テーブルテレビは、町内全域を FTTH（伝送路整備方式）で整備している。また、ケーブルテレビ以外のサービスとして、音声告知端末を防災無線に変わる端末として利用している。現在は、ケーブルテレビの加入率を上げていくことが課題である。また、去年までは、自主番組のほとんどが委託であったが、今年度からいくつか自主番組の制作を始めたところである。
穴水町	ケーブルテレビの開局は来年 4 月を予定している。民設民営方式を進めているため、番組制作も民間会社になる予定であるが、町としても情報の提供等を行い、番組制作に協力していきたい。現在、穴水町にはテレビやインターネットの整備が遅れた地域があり、の町内格差の是正をケーブルテレビ網の整備により解消できるものと期待している。
能登町	平成 19 年度までに全エリアのテーブルテレビ網の整備を終えているが、サービス内容は市町村合併前の旧能都町・旧内浦町・旧柳田村の 3 地区で大きく異なっている。旧柳田村は古くからケーブルテレビに力を入れており、電話回線を使って好きな時に番組が見られる「リクエストチャンネル」というサービスを行っているが、このサービスは他の地区では利用できないため、代わりに再放送（再編集）番組を週末に放送している。番組間では文字放送を流しているが、営利・非営利等の問題で判断が難しい場合があり、はっきりとした基準が必要と考えている。
珠洲市	平成 19 年度に市内全域のテーブルテレビ網の整備を終え、現在の加入率は 55.5%となっている。番組制作については、民設民営方式のため、基本的に民間会社に委託しているが、「行政ニュース」（週に 1 度）は、珠洲市の職員が製作している。
七尾市	テーブルテレビ整備状況は、これまでに合併前の旧能登島町、宮中島町、旧七尾市の灘浦地区が整備され、本年度に旧田鶴浜町と旧七尾市の残りのエリアが整備される予定である。また、自主番組については、能登島センターで、地域情報番組「ニコニコちゃんねる」や「七尾の祭り」等の制作を行っている。

【第2回ワーキンググループ会議】

日時：平成20年6月6日（木）13：30～16：00

場所：珠洲市 産業センター 労働対策室

議事：

○自主番組充実のための意義・課題・方策について

第1回ワーキンググループ会議で報告された「ICT インフラ整備及び自主番組制作状況」を踏まえ、自主番組充実のための意義・課題・方策についてのフリーディスカッションが行われた。各構成員からの意見を以下にまとめる。

意義	<ul style="list-style-type: none">・ ケーブルテレビ放送を通して、地元の良さを再確認。・ 生活を豊かにするために必要な情報をいち早く入手するためのツール。・ 地域の人が地域のことを、誇りを持って紹介できるように、情報を知ってもらうためのツール。・ 地域情報（地元商店街等）の提供による地域活性化支援。・ 議会中継の実施による議会・議員の意識改革。
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 料金に見合うコンテンツ（自主放送）の充実。・ レポーター・スタッフの育成。（行政の人事異動問題含む）・ 機材・人員配置などの財政的な厳しさ。・ 卒業式・運動会などのイベント時の子どもの肖像権に関する承認。・ 議会中継の受け入れに関する議員側の温度差。
方策	<ul style="list-style-type: none">・ 局所的な地域を限定しない、共通して楽しめるコンテンツ制作。・ いつでも再視聴可能な番組のアーカイブ化。・ 地域活性化のための地元商店街等のタイアップ番組の制作。

○自主番組の編集・放映・検証について

自主番組充実のための方策の1つとして、各市町の自主放送番組を統合・再編集した番組イメージ「能登半島広域情報番組（能登半島ヘッドライン【仮】）」を視聴し、意見交換が行われた。各構成員からの意見を以下にまとめる。

- ・ 各市町が素材（映像）を持ち寄って番組製作を行うという企画は良いと思うが、番組の放送時間・頻度、および放送の責任者など、これから検討していく必要がある。
- ・ 町内向け制作番組を広域向け制作番組に反映させるためには、ナレーションを含めた全体フォーマットの統一が必要である。
- ・ 町内レベルで承諾をもらっている顔出し部分は、広域向けではそのまま放送できないという問題がある。
- ・ 民間会社との契約の問題があり、広域向けに放送する場合には委託会社と協議が必要となる。
- ・ 広域情報番組を行う場合、企画課のようなものが必要ではないか。

※まずは、「お試し」で、一度、広域で自主番組を作成・放映することを前提に、事前に各構成員が課題を列挙し、第3回ワーキンググループ会合（7月4日）で集中的に検討を行うこととした。